

要 旨

シンククライアントシステムにおける 負荷分散方式

竹内 紀貴

教育現場のような管理上の問題が生じる危険のある場では、サーバにより集中管理を行う、シンククライアントを用いたサーバベースコンピューティングが有効であると考えられている。しかし、このシステムはその特性上、サーバに対し過大な負荷を発生させてしまう危険性がある。本研究では、高知学校インターネットプロジェクト II を実証フィールドとし、複数台サーバの、効率的な負荷分散を実現する管理技術に関する実証実験を行い、より快適な利用環境構築技術の確立を目指す。

現在、負荷の分散ロジックは、ユーザのログオン時に最も負荷の小さなサーバを自動的に選択するというものである。また、ロードバランスは均一としている。

二度の負荷実験の結果、本題である分散ロジックの検討の前提となる、運用可能なシステムの構築を行うことができ、今後新たにシステムを構築する際の指標となるデータの取得および検証を行うことができた。

今後の検討事項としては、サーバがダウンした際の処理および、実運用データを基とした、負荷分散ロジックの検討が考えられる。

キーワード シンククライアント, サーバベースコンピューティング, 高知学校インターネットプロジェクト II

Abstract

Load Dispersion Methods in Thin Client Systems

Noritaka TAKEUCHI

Server Based Computing by Thin Client is thought to be the effective means in case of arise the problem of management like a school because it carry out the intensive management in server. However, it is fear of cause much load for server. So we realize a load dispersion of plural by experiment. As a result, the system must be more superior.

The logic of dispersion is select the load of server is lowest. And load balances are uniformity.

As a result of twice experiment, we achievemented construction of system. And obtained data of indicator in construction of systems.

After this, we are going to examine when servers go down, and another dispersion logic.

key words Thin Client , Server Based Computing